

令和 7 年度 一般会計当初予算説明資料 (概要版)

企画財政課 財政係

令和7年度 当初予算のポイント

※各数値を四捨五入し、万円単位で表記

P.1

予算総額 P.2

- ・R7一般会計当初予算額：**190.4億円**
- ・R6一般会計当初予算額：**180.8億円**
- ・前年度 **+9.6億円 (+5.3%)**

歳入 P.3

- ・市税：**30億4,600万円 (+2億399万円、+7.2%)**
- ・普通交付税：**63億円 (+1億円、+1.6%)**
- ・臨時財政対策債：**なし (▲2,000万円、皆減)**

歳出 (目的別)

総務費

- 37億8,644万円 (+5億9,463万円、+18.6%)**
- ・東山香地区コミュニティセンター整備事業+2億3,234万円
- ・電算管理事業+2億251万円 (基幹業務システム標準化) 等

民生費

- 61億6,864万円 (+1億3,441万円、+2.2%)**
- ・児童手当支給事業+1億948万円 (制度拡充に伴う増)
- ・重層的支援体制整備事業+1,686万円 (需要増) 等

衛生費

- 15億4,469万円 (+9,084万円、+6.2%)**
- ・可燃ごみ・不燃ごみ収集処理事業+6,274万円 (委託費増)
- ・予防接種事業+3,539万円 (委託費増) 等

農林 水産業費

- 12億5,331万円 (▲1億7,024万円、▲12.0%)**
- ・おいいた園芸産地づくり支援事業▲1億1,790万円 (需要減)
- ・水産物供給基盤機能保全事業▲1億403万円 (事業費減) 等

商工費

- 2億1,472万円 (▲4,801万円、▲18.3%)**
- ・企業立地支援事業▲6,465万円 (対象設備投資減) 等

土木費

- 13億8,085万円 (+1億7,041万円、+14.1%)**
- ・道路メンテナンス事業 (道路ストック総点検事業) +7,600万円
- ・社交金事業 (法面等長寿命化修繕) +5,250万円 等

消防費

- 8億4,063万円 (+8,441万円、+11.2%)**
- ・常備消防事業+6,663万円 (消防組合人件費・公債費増) 等

教育費

- 16億800万円 (+1億3,525万円、+9.2%)**
- ・学校給食費無償化事業+8,711万円 (新規事業)
- ・特別支援員配置事業 (小学校) +2,014万円 等

災害復旧費

- 3億8,271万円 (前年度同額)**

歳出 (性質別) P.4

人件費

- 31億9,400万円 (+1億8,448万円、+6.1%)**
- ・人事委員会勧告に準じた給料表、期末勤勉手当支給月数の改定による増 等

扶助費

- 38億5,703万円 (+1億2,638万円、+3.4%)**
- ・民生費説明による影響 等

公債費

- 16億5,835万円 (▲3,289万円、▲1.9%)**
- ・元金償還額の減 等

普通建設 事業費

- 13億4,019万円 (+1億1,757万円、+9.6%)**
- ・ **P.12** に、R7の主な実施事業を掲載

事業数

- ・R7事業数：**444事業 (+7事業)**
- ・R6事業数：**437事業**
- ・新規事業：**11事業**

基金 P.13

- ・財政調整基金繰入金：**2億円** (R2以来の繰入)
- ・財政調整基金残高：**約28.4億円** (R7末見込)
- ・財政調整基金以外の基金繰入金：**8億7,920万円**
(普通会計、前年度▲1,486万円)
- ・財政調整基金以外の基金残高：**約42.5億円**
(普通会計、R7末見込)

市債 P.14

- ・市債 (A)：**8億4,170万円**
- ・公債費元金 (B)：**15億9,749万円**
- ・公債費利子 (C)：**5,786万円**
- ・プライマリーバランス：**黒字** (A<B+C)
- ・市債 (普通会計)：**10億1,220万円**
- ・市債 (普通会計ガイドラインベース)：**9億760万円**
- ・市債残高 (普通会計)：**約172.3億円** (R7末見込)

第3次杵築市総合計画に基づく政策・施策の推進 P.5~10

【将来像】みんなで創り 好きになる 健幸都市きつき

「みらい」「けんこう」「にぎわい」「くらし」「しくみ」の5つのまちづくり

※ガイドライン：杵築市財政健全化条例第8条にて作成を義務付けている財政規律

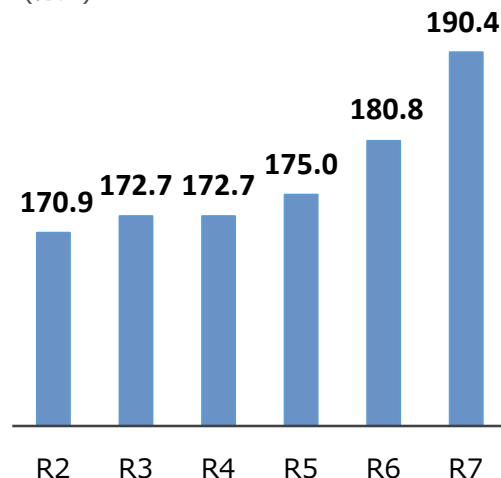
一般会計歳入歳出総額

190.4 億円

(前年度+9.6億円)

- ✓ 第3次総合計画に掲げる将来像の実現に向けた予算組みを実施
- ✓ 未来戦略展開プラン・財政規律ガイドラインを遵守
- ✓ 財政調整基金繰入金は2億円となり、令和2年度以来の財政調整基金の取崩が発生
- ✓ 普通交付税は1億円の増、臨時財政対策債は0
- ✓ 財政調整基金以外の基金繰入金は、前年度▲0.4億円

(億円)



歳入

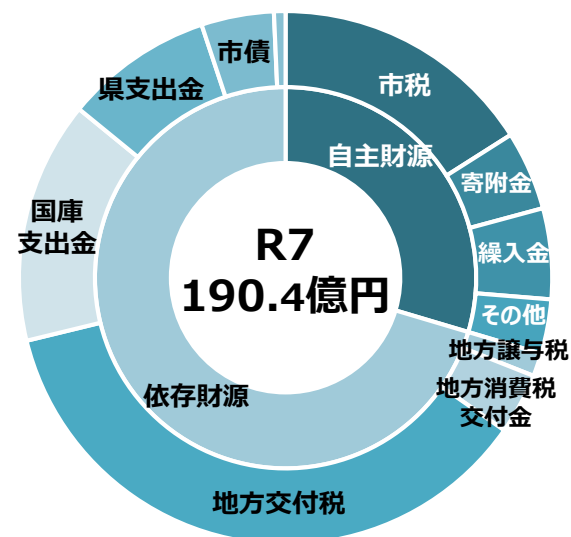
- ・市税：+2億399万円 (+7.2%)
 個人市民税：9億5,210万円 (+1億4,510万円)
 法人市民税：1億4,310万円 (+90万円)
 固定資産税：16億3,980万円 (+5,059万円)
- ・地方交付税：+1億円 (+1.5%)
 普通交付税：63億円 (+1億円)
 特別交付税：6億5,000万円 (前年度同額)
 地方財政対策を考慮、留保額も見込む
- ・寄附金：+300万円 (+0.3%)
 ふるさと杵築応援寄附金：9億円 (前年度同額)
- ・繰入金：+1億6,098万円 (+18.3%)
 財政調整基金繰入金：2億円 (皆増)
 ふるさと杵築応援基金繰入金：4億9,447万円 (▲263万円)
 地域活力創出基金繰入金：2億8,820万円 (▲260万円) 等
- ・市債：+1億2,340万円 (+17.2%)
 東山香地区コミュニティセンター整備事業債：1億3,020万円 (+9,820万円) 等

歳出

- ・人件費：+1億8,448万円 (+6.1%)
 人事委員会勧告に準じた給料表、期末勤勉手当支給月数の改定による増 等
- ・扶助費：+1億2,638万円 (+3.4%)
 児童手当支給事業、重層的支援体制整備事業の増 等
- ・公債費：▲3,289万円 (▲1.9%)
 元金償還額の減 等
- ・物件費：+4億9,159万円 (+17.3%)
 電算管理事業、道路メンテナンス事業（道路ストック総点検事業）の増 等
- ・補助費等：+2,058万円 (+0.8%)
 学校給食費無償化事業の新規計上 (+8,711万円)
 企業立地支援事業の減 (▲6,465万円) 等
- ・積立金：+4,929万円 (+7.6%)
 職員退職手当基金積立金の増 (+3,049万円) 等
- ・繰出金：+2,458万円 (+1.4%)
 後期高齢者特会、介護特会繰出金の増 (+1,844万円) 等

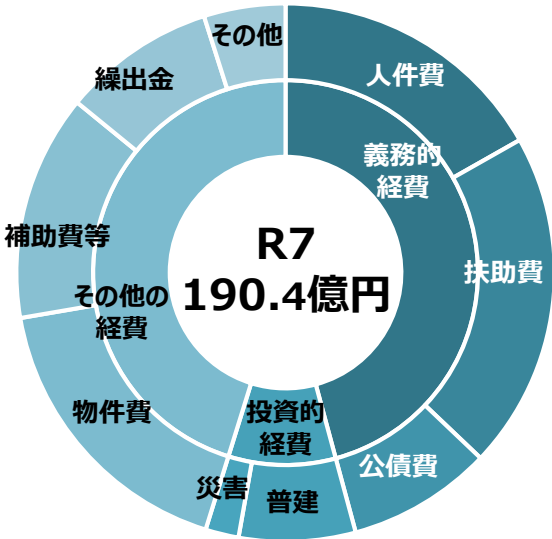
単位：千円、%

		R7		R6		増減額	増減率
		当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A-B	(A-B)/B
自主財源	市税	3,046,004	16.0	2,842,010	15.7	203,994	7.2
	分担金及び負担金	60,065	0.3	65,097	0.4	▲ 5,032	▲ 7.7
	使用料及び手数料	174,354	0.9	175,868	1.0	▲ 1,514	▲ 0.9
	財産収入	49,228	0.3	37,140	0.2	12,088	32.5
	寄附金	915,701	4.8	912,701	5.1	3,000	0.3
	繰入金	1,042,716	5.5	881,735	4.9	160,981	18.3
	繰越金	1	0.0	100	0.0	▲ 99	▲ 99.0
	諸収入	351,247	1.8	171,556	1.0	179,691	104.7
	小計	5,639,316	29.6	5,086,207	28.3	553,109	10.9
依存財源	地方譲与税	266,568	1.4	260,010	1.4	6,558	2.5
	利子割交付金	1,100	0.0	700	0.0	400	57.1
	配当割交付金	7,500	0.0	6,500	0.0	1,000	15.4
	株式等譲渡所得割交付金	12,200	0.1	7,300	0.1	4,900	67.1
	法人事業税交付金	48,300	0.3	41,500	0.2	6,800	16.4
	地方消費税交付金	700,200	3.7	695,200	3.8	5,000	0.7
	ゴルフ場利用税交付金	21,000	0.1	21,200	0.1	▲ 200	▲ 0.9
	環境性能割交付金	25,300	0.1	22,100	0.1	3,200	14.5
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	567	0.0	568	0.0	▲ 1	▲ 0.2
	地方特例交付金	14,900	0.1	114,300	0.6	▲ 99,400	▲ 87.0
	地方交付税	6,950,000	36.5	6,850,000	37.9	100,000	1.5
	交通安全対策特別交付金	2,300	0.0	2,400	0.0	▲ 100	▲ 4.2
	国庫支出金	2,793,804	14.7	2,437,315	13.5	356,489	14.6
	県支出金	1,715,245	9.0	1,816,400	10.0	▲ 101,155	▲ 5.6
	市債	841,700	4.4	718,300	4.0	123,400	17.2
	小計	13,400,684	70.4	12,993,793	71.7	406,891	3.1
	計	19,040,000	100.0	18,080,000	100.0	960,000	5.3

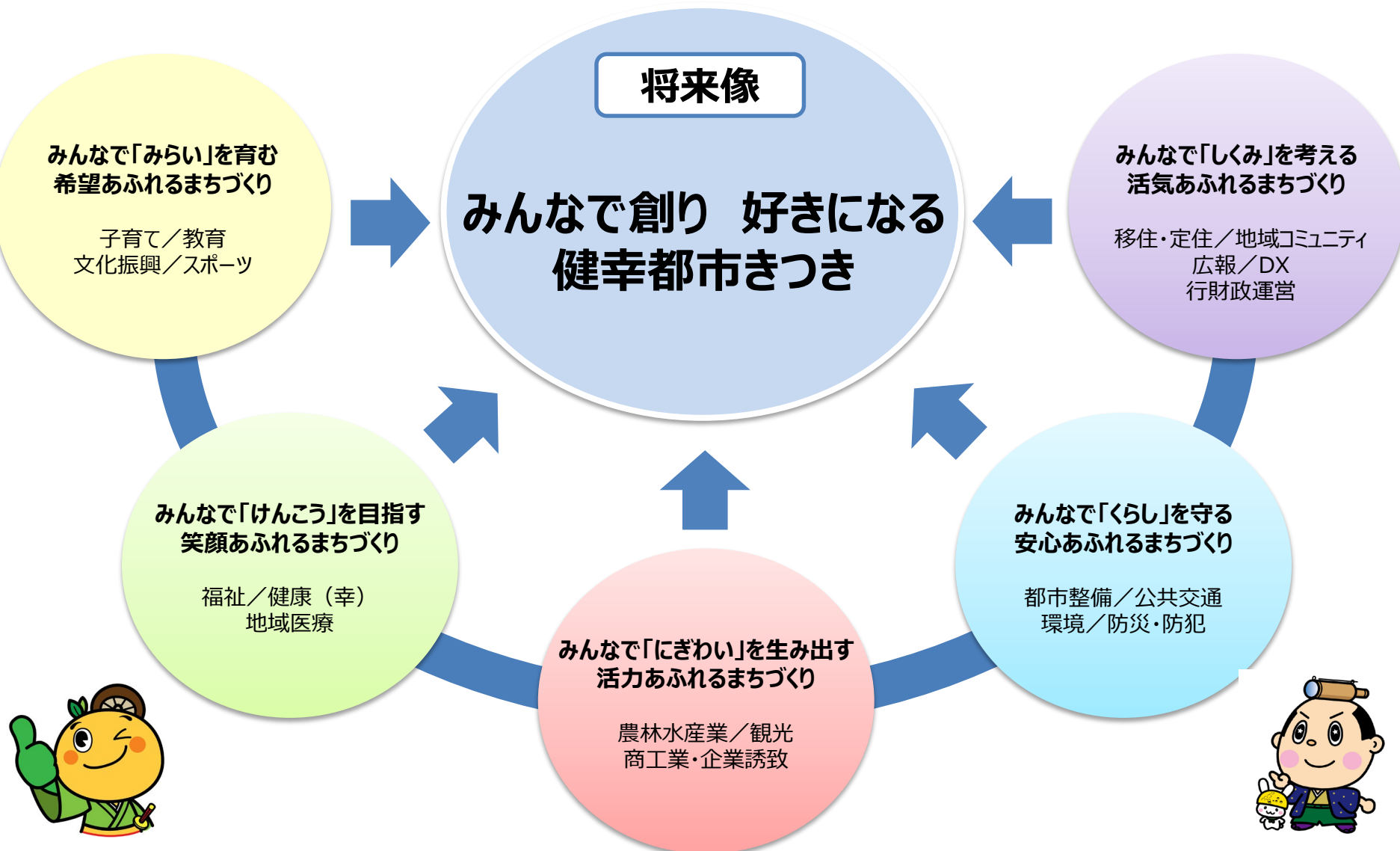


単位：千円、%

	R7		R6		増減額	増減率
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A-B	(A-B)/B
義務的経費	8,709,386	45.8	8,431,423	46.6	277,963	3.3
人件費	3,194,002	16.8	3,009,523	16.6	184,479	6.1
扶助費	3,857,031	20.3	3,730,655	20.6	126,376	3.4
公債費	1,658,353	8.7	1,691,245	9.4	▲ 32,892	▲ 1.9
投資的経費	1,722,900	9.0	1,605,326	8.9	117,574	7.3
普通建設事業費	1,340,186	7.0	1,222,612	6.8	117,574	9.6
災害復旧事業費	382,714	2.0	382,714	2.1	0	0.0
その他の経費	8,607,714	45.2	8,043,251	44.5	564,463	7.0
物件費	3,335,625	17.5	2,844,031	15.7	491,594	17.3
維持補修費	54,494	0.3	81,163	0.4	▲ 26,669	▲ 32.9
補助費等	2,588,606	13.6	2,568,029	14.2	20,577	0.8
積立金	697,239	3.7	647,948	3.6	49,291	7.6
投資及び出資金	125,708	0.7	120,618	0.7	5,090	4.2
貸付金	30,000	0.1	30,000	0.2	0	0.0
繰出金	1,746,042	9.2	1,721,462	9.5	24,580	1.4
予備費	30,000	0.1	30,000	0.2	0	0.0
計	19,040,000	100.0	18,080,000	100.0	960,000	5.3



令和7年度から第3次杵築市総合計画がはじまります。第3次杵築市総合計画で掲げる将来像の実現に向けた5つのめざすまちの姿の達成のために、令和7年度当初予算で必要な事業に取り組みます。



【みんなで「みらい」を育む 希望あふれるまちづくり】では以下の取組を推進します。

- ・子育て支援が充実し、まち全体でこどもたちの成長を育みます
- ・すべてのこどもが健やかに学び成長できる環境を育みます
- ・様々な価値観に触れ、心豊かな生活を育みます

関連する主な施策： **子育て・子育て** **学校教育** **人権・平等** **社会教育** **歴史・文化財** **スポーツ**

【新規】学校給食費無償化事業：8,711万円

（財源：ふるさと杵築応援基金）

市内の小・中学校に通う児童及び生徒を養育する子育て世帯の経済的負担を軽減し、こどもを育てやすい環境を整備するため、学校給食費の全額を補助します。

【継続】学校給食食材費高騰対策事業：2,257万円

（財源：ふるさと杵築応援基金）

食材費の高騰の影響を受ける小・中学校の学校給食について、栄養バランスや量を保った学校給食の提供を維持するため、食材費高騰分を学校給食センター運営委員会に補助します。

【継続】健やか子育て支援事業：5,920万円

（財源：ふるさと杵築応援基金）

未就学児から高校生までの医療費完全無償化を引き続き実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

【継続】すくすく子育て応援事業：2,081万円

（財源：ふるさと杵築応援基金）

小学校と中学校入学時に入学祝金として、5万円分の商品券を支給し、子育て世帯の経済的負担の軽減及び地域経済活動の活性化を図ります。

【新規】教員業務サポートスタッフ等派遣事業：253万円

（財源：県支出金）

教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力することができるよう学校内の環境整備、行事や式典等の準備補助、担任の業務等をサポートするための教員業務サポートスタッフを配置します。

【新規】中学校プログラミング教育推進事業：155万円

（財源：ふるさと杵築応援基金）

学習指導要領により、ドローンを活用した専門的な授業として外部講師によるプログラミング授業を実施します。

【新規】部活動の地域移行・地域連携促進事業：142万円

（財源：国庫支出金）

中学校部活動を地域移行・地域連携することを目指し、学校と各競技部、競技連盟との協議検討を進めるためのコーディネーターを配置し、部活動地域移行・地域連携体制の構築を図ります。

【継続】文化財保存活用地域計画策定事業：1,062万円

（財源：国庫支出金）

市内の指定・未指定文化財の保存及び活用を推進するため、基本計画となる杵築市文化財保存活用地域計画を策定します。

【みんなで「けんこう」を目指す 笑顔あふれるまちづくり】では以下の取組を推進します。

- ・地域全体で共創・共生し、健やかな社会を目指します
- ・こどもから高齢者まで、誰もが元気で幸せな生活を目指します
- ・地域で健康づくりに励み、柔軟な地域医療体制を目指します

関連する主な施策： **地域福祉** **高齢者福祉** **障がい児・者福祉** **健康（幸）づくり** **地域医療**

【継続】重層的支援体制整備事業：1億5,542万円 ※1

（財源：国・県支出金、他会計繰入金）

介護、障がい、子育て等の分野ごとに行われている相談支援、地域づくり、参加支援等を一体的に実施し、属性・世代を問わず受け入れる地域共生社会の体制づくりを推進します。

【継続】病児・病後児保育事業：2,097万円

（財源：国・県支出金、他団体負担金）

病気や病後回復期中を理由として、保育園等を利用することができない児童を対象に市内の医療機関での保育を実施することで、保護者も児童も安心できる環境づくりを行います。

【継続】医療的ケア児在宅訪問支援事業：108万円

（財源：国・県支出金）

日常的に医療的ケアが必要な児童を在宅で看護している方が、看護等からの一時的な休息やリフレッシュをすることを目的として、訪問看護サービスを利用する際の費用を補助します。

【拡充】・乳・幼児健康診査事業：166万円（拡充額）

・妊婦健康診査事業：60万円（拡充額）

（財源：国庫支出金）

従来より実施していた乳幼児健診に加え、今回新たに1か月・5歳児健診を行うことで、乳・幼児の健やかな発達を支援します。

【継続】妊産婦・子育て女性の健幸づくり事業：548万円

（財源：国庫支出金）

妊産婦や乳幼児を養育する母親の健康増進やメンタルヘルスの向上、コミュニティ形成の支援を図るため、対面及びオンラインによる運動と相談一体型のママアップパーク教室を開催します。

【継続】高齢者の保健事業と介護予防等の一体化事業

：1,738万円（財源：諸収入）

高齢者の通いの場を中心とした介護予防（フレイル対策）と生活習慣病等の疾病予防・重症化予防の取組を実施します。

【拡充】予防接種事業：1,709万円（拡充額）

伝染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防し、公衆衛生の向上を図るため、対象者の定期接種費を助成しています。令和7年度からは带状疱疹の予防接種費も定期接種に追加します。また、定期接種の対象とならない方についても、引き続き自己負担の一部を補助します。

【拡充】救急医療施設運営事業：35万円（拡充額）

医療機関休診日等に発生した急病、怪我等の初期救急医療や入院治療を必要とする重症救急患者に対応するため、別府市、日出町と共同で救急医療体制を整備します。令和7年度からは大分県下全域で、病気や怪我の際に医療機関を受診すべきか、救急車を呼ぶべきか電話で相談することができる「救急安心センター」（#7119）の運用を開始します。

※1 福祉事務所、健康長寿あんしん課、医療介護連携課の予算合算額

【みんなで「にぎわい」を生み出す 活力あふれるまちづくり】では以下の取組を推進します。

- ・既存産業を維持発展させ、新たな産業を生み出します
- ・稼ぐ仕組みを構築し、まち全体でチャレンジする人を応援します
- ・豊かな地域資源を磨き、新たな価値（ブランディング力）を生み出します

関連する主な施策： **農林水産業** **商工業・企業誘致** **観光**

【継続】企業立地支援事業：100万円

必要な奨励措置を講じることにより、市内への企業立地を促進し、新たな地域雇用の拡大による地域経済の発展と、市民生活の向上を図ります。

【新規】農村型地域運営組織形成推進事業：1,200万円

（財源：県支出金）

農用地保全活動や農業を核とした経済活動とともに生活支援等の地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織に対して支援します。
※令和7年度対象組織：山浦地域活性化協議会

【継続】おおいた和牛生産向上対策事業：1,050万円

（財源：県支出金、ふるさと杵築応援基金）

大分県の主要ブランド「おおいた豊後牛」について、より高品質な「おおいた和牛」の生産基盤の強化を推進するため、繁殖雌牛の増頭に対して支援します。

【継続】園芸品目栽培施設資産継承推進事業：54万円

力強い経営体の育成による園芸産地の発展を図るため、営農に必要な改修等を目的に空きハウス購入した新規就農者を支援し、園芸品目栽培施設の資産継承を推進します。

【継続】創業支援事業：1,080万円

（財源：地域活力創出基金）

新規創業にあたり最大のハードルである資金調達や空き店舗等の活用に対する支援として、初期経費の一部に対して補助します。

【新規】きつき特産品開発等支援事業：900万円

（財源：ふるさと杵築応援基金）

地域資源のPRや地域活性化のためにECサイト等に適した新たな産品開発や既存商品のブラッシュアップ、増産・改良等に取り組む事業者に対して、機械導入やパッケージの改良等に要する経費を支援します。

【継続】雇用対策事業（就職フェア）：130万円

不足する人材を求める市内企業と、市内での就職（転職）を希望するUIターン者や学生等のマッチングを行う就職フェアを国東市と合同で開催し、市内の雇用促進を図ります。

【新規】水田畑地化推進基盤整備事業：250万円

（県施行農業土木事業）

（財源：県支出金、ふるさと杵築応援基金）

大田地区において農業競争力強化を図るため、区画整理等の事業計画策定に係る調査を県施行事業として実施します。

【みんなで「暮らし」を守る 安心あふれるまちづくり】では以下の取組を推進します。

- ・市民の利便性と環境に配慮し、良好な都市環境を守ります
- ・生活基盤を整え、安心安全で快適な生活を守ります
- ・災害・防災対策が充実し、まちの安心・安全を守ります

関連する主な施策：

都市計画

道路・住宅・公園

上下水道

公共交通

環境保全

防災・防犯・交通安全

【継続】消防施設事業：1,600万円

（財源：国庫支出金、市債）

火災時における確実な水利確保と水利不便地の解消を図るため、耐震性貯水槽を設置し、消防水利の多様化を推進します。

※設置地区：西溝井区、石丸区

【継続】災害対策事業：3,839万円

（財源：市債、ふるさと杵築応援基金）

市民の生命、身体、財産を守るために防災カメラやJ-ALERT等のシステム運用や、自主防災組織の支援等を実施します。

令和7年度は給水車の整備を行いより一層の災害対策を図ります。

【継続】コミュニティバス運行事業：5,159万円

（財源：県支出金、バス利用料、地域活力創出基金）

市内の交通空白地帯解消や交通手段を持たない高齢者等の利便性の向上を目的として、市内の4コースでコミュニティバスを運行します。

【継続】可燃ごみ・不燃ごみ収集処理事業：2億4,409万円

（財源：廃棄物処理手数料、環境対策基金）

一般家庭ごみの適正な収集や運搬、処理を実施するとともに、市指定ごみ袋の作成やごみカレンダー等の作成を行うことで、ごみ減量の啓発を推進します。

【新規】農業水利施設整備事業 向野地区：2,000万円

（財源：県支出金、地元分担金、ふるさと杵築応援基金）

水利用の効率化や省力化、水利施設の長寿命化を目的として、農業用水路の改良工事を行い、地域の維持管理労力の低減を図ります。

※事業期間：R7～9 ・水路改良 L=1,000m

【新規】林道豊後高田山香線整備事業：3,672万円

（財源：県支出金、市債、他団体負担金）

供用開始以降20年以上が経過し、老朽化が著しいトンネル及び法面の改良工事を行い、通行者の安全性を確保します。

※事業期間：R7～11 ・林道改良 L=1,380m

【継続】社会資本整備総合交付金事業（北祇園中の原線）：1,260万円

（財源：国庫支出金、市債）

幅員が狭小のため車両の離合も困難となっている未改良区間の拡幅工事を行い、通行者の安全性と利便性を確保します。

※事業期間：R7～10 ・市道改良 L=350m

【継続】急傾斜地崩壊対策事業：2,151万円

（財源：県支出金、市債、受益者負担金）

土砂災害などの未然防止を図るため、急傾斜地崩壊対策として法面工事を実施します。

※対象地区：元河内、下河内、出河内、天下駄地区

【みんなで「しくみ」を考える 活気あふれるまちづくり】では以下の取組を推進します。

- ・魅力が広まり、様々な関わりを持つ人が増加する取組を考えます
- ・様々な主体が参画し、協働による地域づくりを考えます
- ・市民・行政ともに便利と感じられる方法を考えます

関連する主な施策： **移住・定住・交流** **地域コミュニティ** **DXの推進** **広報** **行財政運営**

【継続】広報事業：839万円

（財源：広告料等）

市報や市公式ウェブサイト、SNS等を通じて、市民が求める情報や杵築市が持つ魅力等をわかりやすく発信することで、より効果的な広報戦略を展開します。

【新規】新杵築市制施行20周年記念事業：1,128万円

（財源：合併振興基金）

令和7年度で新杵築市制施行20周年を迎えるにあたり、合併後の新杵築市の歩みを振り返るとともに、市民の更なる一体感の醸成を図るため、20周年記念事業を実施します。

【新規】万博国際交流事業：127万円

本市は、万博を契機とした国際交流の取組として、ジンバブエ共和国、ブルンジ共和国との交流を実施しています。令和7年度は万博の開催に伴い、市内の小・中学生が参加するための経費を計上し、グローバル人材の育成と多文化共生の推進を図ります。

【継続】地域おこし協力隊設置事業：2,437万円

人口減少や高齢化が進む中、地域力の維持及び強化を図るため、都市部の人材を地域おこし協力隊として任用し、地域の活性化に貢献する人材の確保を図ります。

【継続】移住・定住促進対策事業：4,205万円

（財源：県支出金・地域活力創出基金）

移住や定住を希望する方が負担する住宅の取得費や改修費等を支援することで、経済的負担の軽減を図り、人口減少対策として、市内への移住・定住を促進します。

【継続】東山香地区コミュニティセンター整備事業
：2億6,467万円

（財源：国庫支出金、市債）

地域課題を住民が主体となって解決していくための拠点施設として、東山香地区コミュニティセンターを新たに建設します。

【継続】結婚新生活支援事業：900万円

（財源：県支出金、地域活力創出基金）

結婚に伴い市内で新生活をスタートさせる新婚の若者世帯を対象に、住宅の取得やリフォーム、家賃等に係る費用を支援することで、新生活に伴う経済的負担の軽減を図ります。

【拡充】公共施設等総合管理計画推進事業

（公共施設の適正管理）：1,679万円（拡充額）

（財源：市有施設整備基金）

財政負担の軽減と公共施設の適正配置の実現を図るため、公共施設等総合管理計画に基づき、優先順位を付けて市有施設の解体・除却を進めます。

※令和7年度除却施設：旧給食センター山香調理場



大分県防災情報通信システム更新負担金：423万円 (災害対策事業)

財源：市債
担当：危機管理課

大分県や市町村、消防組合等の関係機関で整備している大分県防災情報通信システム機器の耐用年数が経過するため、機器の更新を行います。



大規模盛土造成地変動予測調査業務委託料 ：2,418万円（都市計画総務管理事業）

財源：国庫支出金
担当：企画財政課

大規模盛土造成地（市内2か所）の安全性を把握するため、地盤調査や安定計算を実施します。



戸籍振り仮名記載確認通知書作成業務委託料 ：306万円（戸籍住民基本台帳事業）

財源：国庫支出金
担当：市民生活課

マイナンバー制度との連携作業の一環として、戸籍上の氏名に振り仮名を記載するため、杵築市に本籍がある在籍者に対して通知文書を発送し、確認や訂正等の作業を実施します。



有害鳥獣捕獲員支援補助金：78万円 (有害鳥獣捕獲事業)

財源：地域活力創出基金
担当：農林水産課

市が任命している有害鳥獣捕獲員に対して、狩猟税、保険料等の狩猟登録に係る経費の一部を支援することで、有害鳥獣捕獲員の更なる確保を図ります。



水産環境整備事業負担金：243万円 (水産振興事業)

財源：ふるさと杵築応援基金
担当：農林水産課

漁場環境保全を目的とした県施行の別府湾海底耕耘事業に対して、関係3市1町で費用を負担します。

※実施期間：R7～11

※対象海域：大分県瀬戸内海別府湾

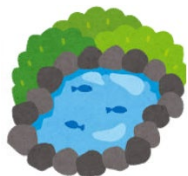


水産物供給基盤機能保全計画書作成委託料 ：2,600万円（水産物供給基盤機能保全事業）

財源：県支出金
担当：農林水産課

老朽化が進む漁港施設や漁港泊地、航路の適正な維持管理のため平成27年度に策定した機能保全計画について、現状の老朽化進行度合いに合わせて見直しを行います。

※対象漁港：美濃崎・加貫漁港



廃止ため池工事請負費：1,601万円 (農業水路等長寿命化・防災減災事業(ため池廃止))

財源：県支出金
担当：建設課

豪雨や地震の災害による堤体の決壊等の被害を未然に防止するため、未利用ため池の廃止工事を実施します。

※対象ため池：寺溜池



調査等業務委託料（田嶋家）等：828万円 (伝統的建造物群保存地区保存整備事業)

財源：国・県支出金、ふるさと杵築応援基金
担当：文化・スポーツ振興課

伝統的建造物群保存地区に選定された北台南台伝建地区の建造物や工作物等の修繕や景観の保全を実施します。

※対象建造物：田嶋家、大原邸土塀 等

※主な事業のみ示しています

総額

13.4 億円

**④ 林道豊後高田山香線整備事業
： 3,672万円**

内容：トンネル及び法面の改良工事を実施
担当：建設課
財源：県支出金：2,100万円
市債：950万円
他団体負担金：619万円

**② 消防施設事業（耐震性貯水槽設置工事）
： 1,600万円**

内容：杵築地域（西溝井区）、大田地域（石丸区）に耐震性貯水槽を設置
担当：危機管理課
財源：国庫支出金：799万円
市債：800万円

⑥ 重永吉野渡線改良事業：2,200万円

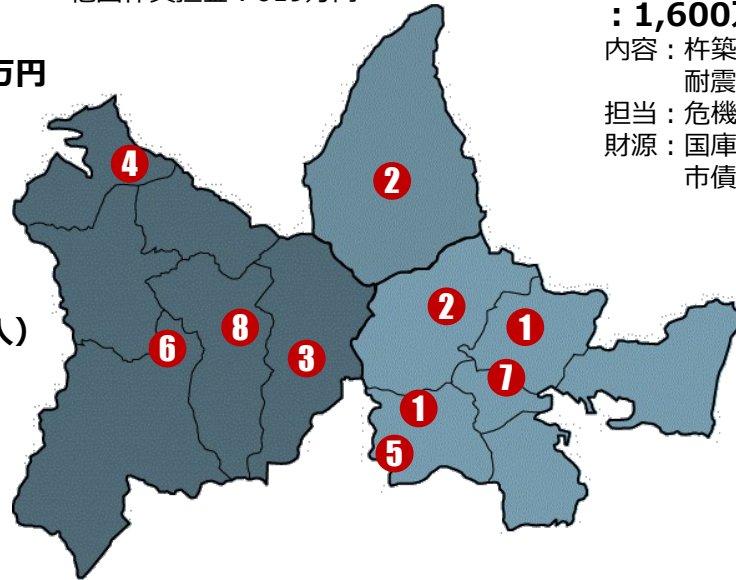
内容：市道の改良工事を実施
R8完成予定
担当：建設課
財源：国庫支出金：1,134万円
市債：1,060万円

**⑧ 中学校管理事業（スクールバス購入）
： 848万円**

内容：山香中学校のスクールバスを更新
担当：教育総務課
財源：国庫支出金：390万円
市債：440万円

**① 非常備消防機械器具整備事業
（小型ポンプ付き積載車購入）
： 1,834万円**

内容：第3分団第4部（大内地区）、第5分団第1部（八坂地区）に導入（2台）
担当：危機管理課
財源：市債：1,770万円



**③ 東山香地区コミュニティセンター整備事業
： 2億6,467万円**

内容：コミュニティセンターの建設工事を実施
担当：協働のまちづくり課
財源：国庫支出金：1億3,231万円
市債：1億3,020万円

⑤ 鹿倉線改良事業：9,450万円

内容：市道の改良工事等を実施
R9完成予定
担当：建設課
財源：国庫支出金：4,860万円
市債：4,590万円

**⑦ 北祇園中の原線改良事業
： 1,260万円**

内容：市道の改良工事を行うための測量設計を実施
R10完成予定
担当：建設課
財源：国庫支出金：648万円
市債：610万円

財政調整基金繰入金

増加

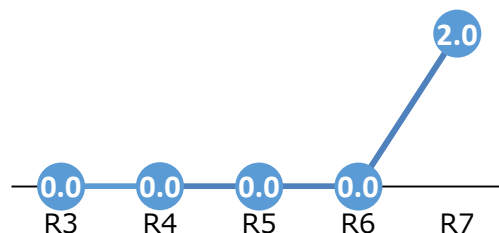
2.0 億円

前年度 + 2.0 億円

✓ 歳入と歳出の差を調整する財政調整基金繰入金は2億円となり、令和2年度以来の取崩となった。

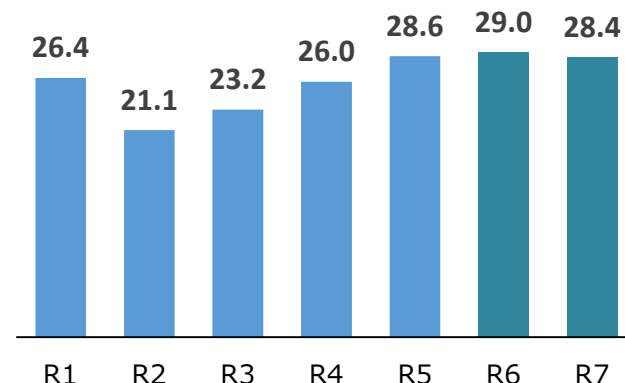
✓ 基金残高は健全化条例ガイドラインにて20億円を堅持することを明記

当初予算推移（億円）



財政調整基金残高推移（億円）

※R6、R7は見込値



財政調整基金以外の基金繰入金

減少

8.8 億円

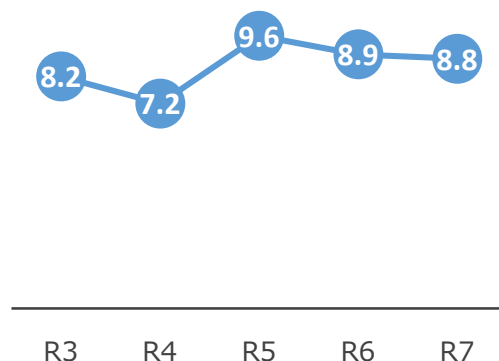
前年度 ▲ 0.1 億円

✓ ふるさと杵築応援基金を4億9,447万円取崩

✓ 地域活力創出基金を2億8,820万円取崩

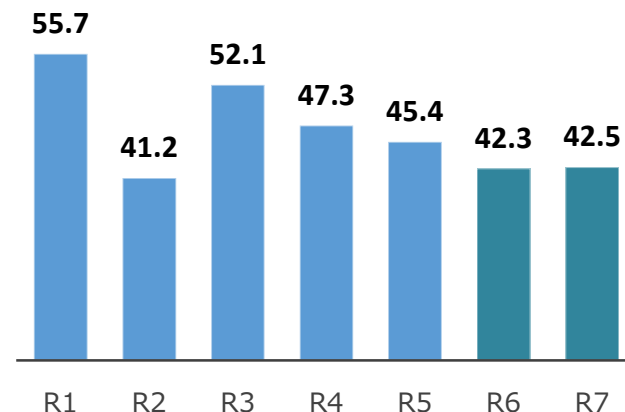
✓ 将来の財政需要（施設の更新・修繕費等）に向けて基金の確保が課題

当初予算推移（億円）



財政調整基金以外の基金残高推移（億円）

※R6、R7は見込値



R7発行額 ※ガイドラインベース

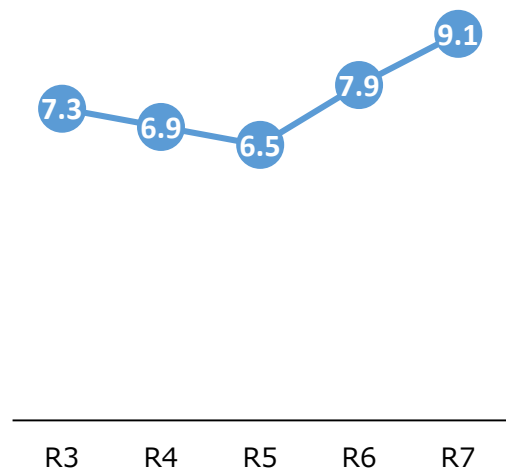
健全化条例遵守

9.1 億円

前年度 + 1.2 億円

- ✓ ガイドラインにおけるR7~R11の発行限度額60億円以内
⇒新たなガイドラインの単年目安12億円以内を達成
- ✓ 繰上償還やプライマリーバランスの黒字化により残高は
近年減少傾向

当初予算推移（億円）
※ガイドラインベース



- ①道路や橋りょうの改良等に 2億6,390 万円
- ②ケーブルテレビの整備に 1億7,050 万円
- ③東山香地区コミュニティセンターの整備に 1億3,020 万円
- ④港湾の整備に 7,410 万円
- ⑤ため池等の農業整備に 6,270 万円
- ⑥消防・防災関連施設整備に 2,990 万円
- ⑦急傾斜地の対策に 2,770 万円
- ⑧ソフト事業に 1億1,700 万円
(子ども医療費助成事業、複式学級支援事業 等)

市債残高推移（億円）
※R6、R7は見込値

